

第1回 磐田市行政経営審議会 会議録

日 時 平成29年8月9日(水) 15時から17時まで

出席者 委員10名

青島美子 委員、飯田昌弘 委員、井上佳子 委員、植田 均 委員、
岡本一夫 委員、鈴木敦之 委員、高柳裕久 委員、永井新次 委員、
村上勇夫 委員、鷺崎早雄 委員、
(欠席 1名 松下育蔵 委員)

市長、副市長、事務局(企画部長、秘書政策課長、秘書政策課課長補佐、
秘書政策課担当)

進行：秘書政策課長

1 開 会

2 委嘱状交付

3 定足数の報告(委員総数11名中10名の出席により会議成立)

4 市長あいさつ

5 委員自己紹介

6 会長及び副会長の選出(会長：鷺崎早雄 委員、副会長：村上勇夫 委員 選出)

7 議事

審議会の概要、スケジュール

磐田市の現況等について意見交換

■意見交換

委員	<p>財政について、一般会計の数字を見ると、平成27年度の民生費が178億円で、ここ10年間で78億円増えている。また、土木費は79億円で、10年間で27億円減っている。社会保障費が増加する中で、公共施設の耐震化や橋の補強等が進んでいるのか疑問に感じる。</p> <p>各施策について、費用対効果や優先順位、民間に任せる等を考えて実施すべきではないか。また、大切なことは将来を見据えた施策である。</p> <p>マーケットインの発想は重要であると考えている中で、渚の交流館の横にある津波避難タワーや(仮称)子ども図書館の整備について疑問を感じる。ひとつひとつの施策を実施する中で、マーケットインの発想を取り入れてほしい。</p>
----	--

市 長	<p>マーケットインの発想はその通りであると感じる中で、民間と違うのは、様々な法制度の中で、社会の進捗状況からみると、後追いの部分がある。</p> <p>公共施設の耐震化については、ほぼ完了している。また、津波避難タワーは、補助金を受けて整備している中で、いろいろ制限はあるが、地震があれば自動に開くようになっている。(仮称)こども図書館は、子育て支援センターでもない、図書館でもない、新たな対策を講じる施設にしたいと考える。子育てや孫育ての相談や情報の発信の拠点としたい。</p> <p>いずれにしても、地方交付税が減少してくる中で、将来を見据えてやらなければいけない。</p>
委 員	<p>地域力の維持の観点から言うと、我々が取り組んでいる地方創生、企業再生についても地域力の強化を目指して取り組んでいる。そのためには、行政が行う施策と自助がかみ合わないといけない。施策と自助のバランスを考えた時、施策に自助がどのように取り込まれているのか。また、施策の理解と満足度がどのように計られているのか。</p>
市 長	<p>市民力を高めるには、市民の意識だと思う。そのためには、経営理念でも掲げているが「市民第一、現場第一、行動第一」のとおり、我々職員が率先して動き、真剣に取り組むことが重要である。</p> <p>地域力の維持は、市民力であると思うので、これからは市民を信頼して、地域ごとに一括交付金という形で、地域が一緒に考え、責任をもって使っていただくことが市民力を上げることになると思う。</p>
委 員	<p>磐田スマートアグリカルチャー事業やトリジェネエネルギー事業等は、磐田市の本気度が違ったからこそ誘致に成功したと思う。それに対し、中小企業の強化・支援ということになると、リーサスの数字では、市内の事業所は、2009年から2014年の期間で546社減っており、多くが後継者不足等による廃業という現状にある。率にしても全国や静岡県と比較しても、高い傾向にある。そこで、お願いにはなるが、事業の創出、再生支援に対し、行政の後押しを強化してほしい。それには、他市の機関と連携して、求心力をもって取り組んでほしい。</p> <p>また、がんばる企業応援団による企業訪問について、企業が思っていることを行政に活かすことはもちろんであるが、それらを我々企業にフィードバックする仕組みをぜひ構築してもらい、一体感をもって中小企業支援をしていきたい</p>

	いと考える。
市 長	後継ぎがいなくて自営業が少なくなっている実情はあるが、例えば農業分野では、身内にいないだけで農業をやりたい若者は多い。そこでスマートアグリカルチャー事業では、農業分野であっても厚生年金に加入できる様な条件で雇用している。また、がんばる企業応援団は、職員に世間のことを肌で感じてほしく、そして、市の本気度を継続して見せることによって、1つでも分かり合えたことがあれば、喜んでもらえると思って始めた事業である。個人市民も法人市民も一緒であり、できることは一生懸命に取り組んでいきたいと思う。
委 員	土日に子どもを預かってくれる保育園があつたら、もっと働けるママが増えるのではないかと。子どもを産んで育てるためには、そのような仕組みがあればいいと思う。そこには、保育士不足という問題もあるが、リタイアした者を活用する方法もあるのではないかと。
市 長	働く人を支えることは大切であり、公立幼稚園の延長保育に取り組んで、待機児童ゼロも達成している。一方、サービス業に就く方も増えている中で、土日に子どもを預けることができる保育園が必要であるということも課題であると思うが、保育士が集まらない現状もあるため、これからも頑張りたいと思う。
委 員	地域力・市民力を上げていくには、何が必要か。それは、行政の施策の仕組みだけではなく、市民がどれだけ自主的に参加していただけるのか、行動できるのかである。磐田の指標として、高齢者が高齢者を支えるサロンの数が、県内の市の中でトップの数字であり、市民が自主的に参加している傾向が伺え、老老支援が当たり前になっていることが、高齢者の健康維持、生活の充実の大きな手段となっている。このような市民の自主的な意欲と行政とがどのように結びついていくかが大切になってくる。
市 長	サロンにも課題があり、後をつなぐ年齢層が乏しい現状がある。今回、一括交付金の導入の狙いとして、交流センターにボランティア人材バンクをつくり、意欲のある市民の方の力添えをもらおうと考えている。次の時代にバトンタッチしていくため、運営方法も変えていこうとしている。例えば、ラジオ体操事業でも、楽しみながらやっていたら負担感はない。時代の変化とともにや

	<p>り方を変え、良いところを伸ばし、負担感なく、手伝ってくれる人にはお願いし、それらに少しのインセンティブをうまく兼ね合わせる大切であると考える。</p>
委 員	<p>子育て世代として、こども医療費の無料化は非常にありがたいと感じている。全幼稚園へのエアコン設置等ハード面の施策を進めているが、IoT や AI の分野等、時代の変化に対応したソフト面の特色を出して、磐田の強みをもたせてくれたら良いのではないかと考える。</p>
市 長	<p>少子高齢社会のテーマは、受益と負担のバランスだと考える。こども医療費の無料化もコンビニ受診の懸念等から医師会の先生の理解や協力があって実現に結びついている。</p> <p>ひとつでも多くの機会と出会いを大切にしたいと考えている。そこで、交流センターに寺子屋みたいなものを設けられたらと思っている。それが、地域力、市民力につながればと考える。</p>
委 員	<p>JR 新駅の整備やデマンド型乗合タクシーの導入等様々な施策を実施している中で、子どもからお年寄りまで、市民の意見が吸い上げられていない部分もあるのではないかと考える。もう少し強化してもらえたらと思う。</p> <p>子どもの貧困について、見た目では分かりづらく、大変だと思うが、磐田市でも子どもの貧困実態調査の実施に取り組むようなので、ぜひ情報が漏れてイジメなどに繋がらないよう、進める時に県や専門の勉強会を参考にしてもらいたい。</p>
市 長	<p>市民の皆様の子どもからお年寄りまでの意見を吸い上げることは、永遠のテーマである。これからも頑張っていきたい。</p> <p>子どもの貧困について、事の本質とマジョリティーが何なのかを意識する必要がある。学校現場も含めて、大変なのは、声の大きい方に振り回されていることがある。ぜひ組合の運動として親教育を意識して啓発してほしい。夫婦仲が良ければ子どもは大丈夫だと思う。結婚した時から、そして妊娠期から交流センターや（仮称）子ども図書館等でいろんな事を試していきたい。ぜひ企業にも協力してもらいたい。</p>
委 員	<p>市民力の向上には、自治会の力が必要になってくるわけだが、地域づくり協</p>

	<p>議会は、是正されてきてはいるものの、多少格差がある。また、行政の施策が自治会に通じていない現状にある。それは、自治会長が毎年変わることもあり、それをいかにカバーするかが重要であり、そのためには、市民に浸透させるべく組織（ルート）をつくることが課題である。</p> <p>もう1点は、一括交付金について、これを活用できる人材の育成を図ることが自治会の課題である。</p>
委員	<p>発達支援センターで業務をしていた中で、転出する方のサポートが多かったのが、近年では転入してくる方のサポートが多くなってきた傾向にある。Uターン等で子どもが増えているのかなと感じている。その中で、高校生になると支援が少なくなることが課題である。義務教育が終了した後、自立に向かい、社会の一員として、引きこむことなく、交流できる手段があるといいと感じる。その中で、例えば交流センターでの寺子屋やがんばる企業応援団での就業に係るマッチングに結びつくことができたらなと感じている。</p>
市長	<p>まちづくりは人づくりだと思う。これを推進するために、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦や広島平和記念式典への派遣等、磐田市の基礎づくりを行っている。</p> <p>また、農業は、今後「飛躍、発展を秘めているものだ」と感じており、障害の分野でも、企業が地域貢献として雇用する等、良い成果がでてきている。</p> <p>ひとりでも多くの市民が参画し、住みやすいまちを目指して、その結果人口が増えてきたら良い。そのためにも、本審議会では、行財政改革、総合計画、総合戦略の検証をしてもらうとともに、忌憚のないご意見をいただきたいと思う。</p>

8 その他

9 閉 会

以上 審議会 終了（17：00）